学校番号	３２６

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校美術3」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分自身の作品が人や社会にメッセージとして伝わることを意識した「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化を尊重し関心を、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 レポート 鑑賞活動やグループワークの様子	レポート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	レポート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	鉛筆デッサン	組みモチーフ 鉛筆デッサン 構図、バランスを考え形・質感・空間表現を鉛筆の明暗の差により表現する。	○	○	○	○	a.材質の違いや形の特徴を理解し表現に意欲的に取り組めているか。b.対象への客観的な観察、描写ができているか。c.表現の工夫、質感の違いを描込み表現の工夫がなされているか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの姿勢 作品の評価 制作態度 提出課題の評価 レポートの評価
	風景写生	自分の思いを刻み込む風景写生。 構図を考え、自分独自の表現に挑戦する。アクリルガッシュ絵の具を使いこなす。	○	○	○	○	a自分自身の思いを意欲的に掘り下げているか。b.自分自身の表現にしようと追求することができているか。画面の構成力工夫があるかc.表現方法を工夫し、創造的に表わすことができているか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの姿勢 作品の評価 制作態度 提出課題の評価 レポートの評価
2学期	切り絵・灯籠制作	画面構成、切り絵の表現に合ったデザイン、など構想を練り レタリング構図など表現の工夫を行う。地域との交流の一環として展示する作品であることを意識して制作する。	○	○	○	○	a. 明かりがついたときの効果を思い描いて意欲的に制作できているか。b.テーマを深く知り造形的な面白さ表現の独創性を追求ができているか。c. 切り絵の技法を理解し、造形的な面白さ表現の独創性を追求できているか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの姿勢 作品の評価 制作態度 提出課題の評価 レポートの評価
	選択制作	・油絵・パネル・木版の中から1つ選択し制作する。 テーマ設定、制作計画も各自で行い 3 年間の集大成卒業制作として作品に取り組む	○	○	○	○	a.課題を選び自分のテーマを考え、深め、意欲的に取り組むことができているか。b.アイデアを出し、創造的に構成、表現ができているか。 c.用具技法を理解したうえで表現技術の向上がみられるか。d. 毎回作品の振り返りを行えているか。	取り組みの意欲 作品の評価 制作態度 提出課題の評価 レポートの評価
	合評	鑑賞　互いの作品を評価しあう	○			○	a自身の作品について客観的に評価し発表する。d人の作品のよさを感じ伝える。	鑑賞ワークシートの評価 合評会への取り組み

	パッケージ	プレゼントボックス制作 立体物としての表現の工夫を行う	○	○	○	○	a. 贈る相手をイメージしデザインし、思いをこめて制作できているか。b. 各面の構成、表現、配色など構想を練っているか。仕掛けのアイデアを発想できているか。c.自身のテーマの表現のために工夫、技術の向上がみられるか。d. 振り返りを行えているか。	取り組みの意欲 作品の評価 制作態度 提出課題の評価

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。